知的財産権 (Intellectual Property)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
機械電気	必修	3 年後	1	講義	井上 浩 阿部 忠人

【授業の概要】
現代社会において益々重要度を増している知的財産権の保護と活用の基礎について学習する。また、その権利の客体となる知的財産の創出プロセスや権利取得のための手続の体験を通じて実践的に学ぶ。

【授業の進め方】
毎回、講義と演習を行いながら学習を進めることを基本とする。また、3回に1度の頻度で学習シートにより講義内容を確認してもらうとともに、質問なども提出してもらい、コミュニケーションをとりながら学習を進める。さらに、与えられたテーマあるいは各自で考えたテーマに関して各自1つのアイディア（発明）を創出し、特許出願のための書類を作成する。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1 回	知的財産権の種類	日常の生活に関係する身近な知的財産権を例にしながら、知的財産権全般について、種類、権利の内容、特徴を学ぶ。
2 回	発明とは	身近な発明品を例に挙げ、アイディアを発明にするための工夫について学ぶ。
3 回	アイディアの創出	アイディアを生み出すための手法について学ぶ。
4 回	特許情報の調査	特許についてどのような情報が得られるのか、それをどのように活用するのかについて学ぶ。
5 回	特許とは	発明が特許として保護されるための要件について学ぶ。
6 回	特許制度とは	特許を取得するために必要な手続きとその流れについて学ぶ。
7 回	意匠と商標	意匠と商標について各権利の内容や特徴など基礎的なことについて学ぶ。
8 回	中間試験	特許制度の基本的事項の確認
9 回	答案返却、特許権の侵害とは	中間試験の解答と説明。 特許権が法律で保護された権利であることを認識し、侵害に対する防衛と対処について学ぶ。
10 回	特許請求の範囲の書き方 (演習)	権利範囲を意識しつつ、特許請求の範囲を作成する。
11 回	明細書と図面の書き方 (演習)	自己のアイディアを書面でわかりやすく表現する。
12 回	要約書の書き方と明細書の仕上げ (演習)	明細書を仕上げ、その内容を簡単にまとめる。
13 回	発表会資料作成	発表会の資料を作成する。
14 回	著作権	著作権の基礎的内容を学ぶ。
	期末試験	レポート（特許出願書類）を提出する。
15 回	答案返却など	各人の発明についての発表とその講評。

【到達目標】	知的財産権に関して基礎的な知識を習得することを目標とし、さらに、知的財産権の取得に必要な出願書類について簡単なものであれば作成できるようになることを目標とする。			
【徳山高専学習・教育目標】		C2	【JABEE 基準 1(1)】	
【評価法】	中間試験の点数を３０％、レポート（特許出願書類）の点数を３０％、演習プリント等の提出状況に基づく平常点を４０％として総合的に評価する。			
【テキスト】	産業財産権標準テキスト（特許編、商標編、意匠編）、配布資料			
【関連科目】	ベンチャービジネス論（5 年）、創造演習 I・II（1・2 年）、創造製作 I・II（2・4 年）、コンピュータ制御（3 年）、工学セミナー（4 年）、卒業研究（5 年）			
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】			